

# 市政を問う

(文責本人)



萩野 幸弘 議員  
(躍進とおの)

## 一問一答方式



より多くの若者が定住できる街づくりを (写真はイメージ)

**問** 本市の生産年齢人口の推移はどのような状況か。

**答** 1975年当時は人口3万8千146人に對し生産年齢人口は2万5千392人であり、人口に占める割合は66.6%であったが、2005年には55.4%まで減少している。このまま対策を講じない場合、2040年には人口が1万7千786人まで減少し、その

**問** 時々の生産年齢人口は8千380人、人口に占める割合は47.1%まで減少すると予測されている。

**答** 子育て分野では2008年にわらすっこプランを策定し、翌年には条例と基金を創設して、子育てに優しい町づくりを目指してき

# 生産年齢人口の推移と増加に向けた取り組みは

た。更に昨年(平成26年)から「6次産業推進本部」と「子育てするなら遠野推進本部」を立ち上げ、雇用環境

と子育て環境の充実強化を図ってきた。今年(平成27年)4月からは、この取り組みを進化発展させるため「遠野まち・ひと・しごと推進本部」を設置し、「遠野スタイル創造・発展総合戦略」の策定作業を進め、このほど完成したところだ。

**問** 少子化により日本人の就業人口が減少しているが、逆に世界人口は今も増加を続けている。よって国に外国人受入特区を申請し、本市の活性化につなげてどうか。

**答** 商工業については2月に開催した懇談会においてご指摘の状況について伺っており、当局にとっても極めて厳しい状況になると認識している。

**答** 日本国内で生産年齢人口を確保する事が困難になってきていることは明らかであり、市政課題の克服に向け、増加を続ける世界人口に着目した人材確保対策も前向きに検討したい。

**問** 「わらすっこのうた」制作の内容は。

**答** 子ども達が元気に歌い、応援歌的な意味合いを含めた、幼児向けの「わらすっこのうた」を制作する。子ども達が大人になっても親しみやすい歌を作りたい。1月から2月に制作をして、3月頃には保育所等で練習するなど周知を図り、保育協会一元化のスタートに合わせてお披露目をしたと考えている。

**問** 助産院のみの遠野の現況はベターであつてベストではない。わらすっこのニーズ調査でも、お産を扱う医師の常勤化が求められている。産科医の確保こそが重要ではないか。

**答** 切れ目のない妊産婦へのフォローを継続しつつ、招へい活動は変わりなく続ける。緊急対応など、一人の産科医が24時間を診ることは不可能。複数のドクターを確保した段階でバスセンター(産院)を造る。釜石道や立丸トンネルの

**問** 遠野市がmmiを取得し、大手のホームセンターが入って半年経過した。宮守ま

**答** 地域集積協力費は平成26年度と27年度の単価36,000円であるが、平成28年度から平成30年度まで順次引き下げられる。単価は集積率をもとに優先順位を決めて、決定になる。昨年は県内20以上の組織が申請をしたが採択にならなかった。



めがねばしとSLを撮影に多くのカメラマンが訪れた

**問** いじめ問題への対応は。

**答** いじめ防止等基本方針を策定し、いじめ防止等対策委員会を立ち上げた。今後は委員の選任、会議の開催、啓発リーフレットを作成配布する。また重大事態への対処として、第三者委員会と調査委員会の設置について条例化を図りたい。

**問** 児童生徒や保護者に啓発用リーフレットを配布する。地域とともに対策を組む必要があると考えており、ホームページ等でも広く普及したい。

**答** 児童生徒や保護者に啓発用リーフレットを配布する。地域とともに対策を組む必要があると考えており、ホームページ等でも広く普及したい。

**問** 平成28年4月から準備を進めており、9月30日にはコンビニ収納代行業務の業者を選定し、契約を締結している。現在は、システムの構築と併せてゆうちょ銀行での窓口納付が可能になるような納付書の様式内容見直しを行つており、それぞれに4月スタートを目指している。

**問** 産み育てる環境づくりについて

**答** 助産院ねつと・ゆりかご推進事業費432万円の内容は、超音波画像伝送システム機器を購入する。これにより県内12の医療機関が結ばれ、産科医不在地域でも母体と胎児の的確な診察が可能となる。診断精度の向上・妊産婦の安心安全に効果があるものと期待している。

**問** 地域集積協力費の引き下げについて

**答** 法人化されている団体でない対象にはならない。

**問** ちなか再生事業の現在の状況は。

**答** 開店から4か月の利用者数は延べ4万人。商圏人口が1か月当たり4千人の計画であったが、2.5倍の利用者である。

**問** 順調に推移しているようだが、次の計画の進捗状況は。

**答** 今年度は、市営住宅の整備として調査測量業務を行つてい

**問** 条文は準備ができている。すぐに臨時議会を開き条例化して対応したい。子ども達の命にかかわる大事な問題であり、最優先で取り組む。

**問** 子ども達に、いじめを解決する力を身に付けさせることも大事では。

**答** コミュニケーション能力、対人スキル、自分の考えをしっかりと話せる力を身に付けることが大事だと考えている。方針に取り入れていきたい。